

科目	化学英語Ⅱ (ESP, Chemistry II)		
担当教員	小島 達弘 准教授		
対象学年等	応用化学科・4年・前期・選択・1単位【講義】(学修単位Ⅲ)		
学習・教育目標	B4(100%)		
授業の概要と方針	3年次配当科目である化学英語Ⅰで修得した専門単語や化学英語に関する基礎的な知識をもとに、大学編入学試験レベルの読み書きができる能力を鍛えるとともに、技術英検2級から1級程度の読解力・英作力を身につける。		
	到達目標	達成度	到達目標別の評価方法と基準
1	【B4】技術英検2級から1級程度の問題を解答できることを目標とする。		実際の技術英検2級・1級(旧工業英検3級・準2級)の問題を解答できるか、中間試験および定期試験で評価する。
2	【B4】大学編入学試験程度の英文を読解(英文の和訳および要約)できることを目標とする。		実際の大学編入学試験や配布資料の英文を読解(英文の和訳および要約)できるか、中間試験および定期試験およびレポートで評価する。
3	【B4】大学編入学試験程度の英作ができることを目標とする。		実際の大学編入学試験や配布資料の英作ができるか、中間試験および定期試験およびレポートで評価する。
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
総合評価	成績は、試験90% レポート10% として評価する。試験成績は中間試験と定期試験の平均点とする。総合評価は100点満点で60点以上を合格とする。ただし、未提出のレポートがあった場合は不合格とする。また、必要に応じて再試験を行うことがある。		
テキスト	講義時に配布するプリント 「化学英語101 リスニングとスピーキングで効率的に学ぶ」: 國安均 著・ジェフリーMストライカー 英語監修(化学同人)		
参考書	「化学英語の活用辞典 第2版」: 足立吟也・小関治男・片岡宏ら 共著(化学同人) 「化学・英和用語集 第3版」: 橋爪斌・原正 共著(化学同人) 「化学・和英用語集」: 橋爪斌・原正 共著(化学同人)		
関連科目	C3 化学英語Ⅰ, ならびにすべての応用化学科専門科目		
履修上の注意事項	受講する際には、電子辞書もしくは英和辞典の持参を求める。また、和英辞典や専門単語を取り扱った英和・和英辞典があると便利である。		

授業計画(化学英語Ⅱ)

	テーマ	内容(目標・準備など)
1	技術英検2級相当の問題の読解(その1),和文英訳	技術英検2級相当の問題を読解する.配布資料の実践問題を用いて,和文英訳を行う.
2	技術英検2級相当の問題の読解(その2),英文和訳,和文英訳	技術英検2級相当の問題を読解する.配布資料の問題を用いて,英文和訳,和文英訳を行う.
3	技術英検2級相当の問題の読解(その3),英文和訳,和文英訳	技術英検2級相当の問題を読解する.配布資料の問題を用いて,英文和訳,和文英訳を行う.
4	技術英検2級相当の問題の読解(その4),英文和訳,和文英訳	技術英検2級相当の問題を読解する.配布資料の問題を用いて,英文和訳,和文英訳を行う.
5	技術英検2級相当の問題の読解(その5),英文和訳,和文英訳	技術英検2級相当の問題を読解する.配布資料の問題を用いて,英文和訳,和文英訳を行う.
6	技術英検1級相当の問題の読解(その1),和文英訳	技術英検1級相当の問題を読解する.配布資料の実践問題を用いて,和文英訳を行う.
7	技術英検1級相当の問題の読解(その2),和文英訳	技術英検1級相当の問題を読解する.配布資料の実践問題を用いて,和文英訳を行う.
8	中間試験	1週目から7週目までの内容で中間試験を行う.
9	中間試験の返却・解答,テキスト文章の読解(その1)	中間試験の返却ならびに解答を行う.テキストChapter 4,5の問題を用いて,英文和訳を行う.テキストChapter 6の実践問題を用いて,和文英訳を行う.
10	テキスト文章の読解(その2)	テキストChapter 4,5の問題を用いて,英文和訳を行う.テキストChapter 6の実践問題を用いて,和文英訳を行う.
11	テキスト文章の読解(その3)	テキストChapter 4,5の問題を用いて,英文和訳を行う.テキストChapter 6の実践問題を用いて,和文英訳を行う.
12	大学編入学試験相当の英文和訳,和文英訳(その1)	実際の大学編入学試験を用いて,英文和訳,和文英訳を行う.また,適宜英熟語や専門単語について解説する.
13	大学編入学試験相当の英文和訳,和文英訳(その2)	実際の大学編入学試験を用いて,英文和訳,和文英訳を行う.また,適宜英熟語や専門単語について解説する.
14	大学編入学試験相当の英文和訳,和文英訳(その3)	実際の大学編入学試験を用いて,英文和訳,和文英訳を行う.また,適宜英熟語や専門単語について解説する.
15	講義の総復習	半期の講義で学んだ内容について総復習を行う.
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		
備考	前期中間試験および前期定期試験を実施する. 本科目の修得には,30時間の授業の受講と15時間の事前・事後の自己学習が必要である.事前学習として該当週の内容の予習(配布プリントを調べながら解く),事後学習として講義内容の復習(熟語や単語のチェック)が必要である.	